

令和5年度第1回花巻市東和地域協議会 会議録

1 会議の日時及び場所

- (1) 日時 令和5年11月21日(火) 午前10時00分～午前11時15分
 (2) 場所 東和総合支所 1階 第1会議室

2 出席委員(出席11名、欠席4名)

区分	団体等	氏名	出欠
第1号委員 公共的団体から 推薦された者	東和地域区長会会長	太田 求	出
	明日の小山田を考える会会長	浅沼 正昭	出
	浮田地区コミュニティ会議会長	千葉 雅宏	欠
	花巻商工会議所東和支部会長	菊池 忠彦	出
	東和町体育協会会長	小原 順	出
	花巻市社会福祉協議会東和支部長	菊池 一良	出
	花巻農業協同組合女性部 花巻地域支部東和支部長	下坂 誓子	欠
第2号委員 学識経験を有す る者	土澤アートクラフトフェア実行委員会	武政 文彦	欠
	東和棚田のんびり RUN 実行委員会委員	川村 智子	出
	東和地域民生委員児童委員協議会	小原 千賀子	出
	東和地域教育振興運動実践協議会会長	松葉 孝博	出
	宮澤賢治東和の会会長	小原 節子	出
	土沢幼稚園PTAあやめの会副会長	小原 絵里香	欠
	東和町婦人消防協力隊長	日下 明久美	出
第3号委員 公募委員		平野 悠広	出

3 市側出席者

○総合政策部(4名)

岩間総合政策部長 秘書政策課総合計画策定室: 富澤室長、村田次長、川村主査

○東和総合支所(5名)

菊池支所長 市民サービス課: 清水課長 地域振興課: 伊藤課長、及川課長補佐、伊藤地域
づくり係長

4 傍聴者 (なし)

5 議事

(1) 第2次花巻市まちづくり総合計画長期ビジョン（素案）について

6 議事の概要

(1) 開会（及川地域振興課課長補佐）

本会議の成立報告（花巻市地域自治区設置条例第9条第2項）

(2) 挨拶（松葉会長）

(3) 議事 議長（松葉会長）が進行

(4) 閉会（及川地域振興課課長補佐）

※会議での主な発言内容は、以下のとおり

1 開会（司会：及川地域振興課課長補佐）

ただいまから、花巻市東和地域協議会を開催いたします。

まず、委員の出席状況についてご報告いたします。委員15名のうち11名のご参加をいただいておりますので、花巻市地域自治区設置条例第9条第2項の規定による委員の半数以上の出席を満たしており、会議が成立いたしますことを報告いたします。

なお、本協議会につきましては、花巻市審議会等の公開に関する指針に基づき、会議を公開しておりますので、ご了承いただきたいと思います。

2 あいさつ（松葉会長挨拶）

おはようございます。本日は朝早くにお集まりいただきありがとうございます。

この東和地域協議会は、花巻市が行う事業や新しく計画を策定する段階で、地域の意見を聞きたいということで設置されているものです。今回ご協議いただくのは、令和6年度から施行する第2次花巻市まちづくり総合計画長期ビジョンについて皆さんのご意見をいただきたいということでお集まりいただきました。

本日は素案の説明をいただいて、市民の意見を反映させたワークショップなどの結果を踏まえて、今後の花巻市の未来というかこれからの地域づくりについての会議になりますので、遠慮なくご発言いただければと思います。簡単ではございますが挨拶といたします。

本日はよろしく申し上げます。

（司会）

本日の会議に出席しております職員を紹介します。職員を司会が紹介。

3 議事（松葉会長）が進行

第2次花巻市まちづくり総合計画長期ビジョン（素案）について

（富澤室長より説明）

議長（松葉会長）

それでは、ご質問やご意見ある方ございませんか。

（浅沼委員）

将来人口等の見通しの関係でお聞きしたいと思います。これは花巻市全体の見通しですが、ここは東和地域の協議会なので東和に限っての意見を述べさせていただければ、現在、毎年の出生数がここ数年は20人程度となっていて、今の小学校で1学年は確か60～70人程度と聞いています。2040年度、2050年度に花巻市全体で0～14歳人口が増えるというのは相当希望的な観測なのだろうと思いますが、東和で言えば200人から300人程度になると思います。人口減少のスピードを緩やかにしたいという気持ちは全く同感なのですが、無理があるのではないかと率直に思います。グラフの将来人口の目標で2050年度では社人研と約1万人近い差があるわけです。その辺をもう少し実態に合わせていくべきだと思いますし、目標との差があまり大きいのではないかと思います。

（富澤室長）

ご意見ありがとうございます。

資料No.2のグラフの解説を加えさせていただきますと、一番上の赤い実線これが将来人口の目標です。こちらは住民基本台帳上の数値がベースになっております。一般的には花巻市の人口はこの数値を言います。次の青い実線、これが成行値でございまして、人口減少対策を打たなかった場合にこういう予想になるだろうと、こちらのベースも住民基本台帳上の数値でございませぬ。一番下の緑色の破線、これが社人研推計ということで、このベースが5年毎に行われる国勢調査になっております。

本市の場合は、住民基本台帳上の数値と国勢調査の数値を比べますと、住民基本台帳上の数値が大きいということでございまして、この人口減少の傾向については社人研推計で用いた係数を基にしております。基本的には人口減少対策に取り組んでいた場合の人口が赤い実線で、人口減少対策に取り組まなかった場合の傾向を踏まえると青い実線というような形で見ていただければと思います。

（浅沼委員）

答弁を求めるものではないですけど、今年の4月に社人研が公表した将来推計人口の中で、2022年に出生数79万人位です。それが当初の5年前の推計で80万人を割るのは2038年でした。そして今70万人を割ると思われるのが2038年と言っています。社人研では前の推計で12年も違ったのに、また同じことを繰り返していると私は思っています。だからこそ緩やかにすることなのでしょうけども、実態と離れていないかという感想です。

議長（松葉会長）

よろしいですか。他にございませんか。

（菊池忠彦委員）

商工業の振興についてお尋ねします。資料No.2の38ページ商工業の振興の項目で、中心市街地における空き店舗を活用した創業支援を進めるとともに、これはその通りで、旧花巻も旧3町も空き店舗多いですが、これは当初から必要だと思っています。その次の立地適正化計画区域内の商業地域ですが、具体的にイメージされた地域はありますか。アバウトなものじゃなくて計画段階でもイメージするところがあるのかなと思って、先ずはこの点お伺いします。

(富澤室長)

ありがとうございます。

立地適正化計画の区域ですが、ここではJ R花巻駅の東側から上町エリアになります。

(菊池忠彦委員)

では、リノベーションの推進とはどんなふうイメージされていますか。

(富澤室長)

リノベーションについてですが、主に若い方々や民間で進められていると認識しております、それを支援しているというような段階で、市がリノベーションを強力に引っ張っていくという形ではないと理解しております。

(菊池忠彦委員)

私は市がやっていただいてもいいのかなと半分は思っています、実際に商工会議所や商店だけでできるかというそれは財政面で難しくて、一企業が今立っているのが難しい時代ですから、今実際に経営している事業としてまずそこに力を注いでいます。それで商工会議所という集団としてやっていた場合でも、それを全部商工会議所で進めるのはなかなか難しいです。財政面からいっても市の協力は絶対必要であると思っていることと、上町も土沢商店街も石鳥谷も大迫も一緒だと思いますが、昔の商店街なので店舗の後ろに人が住んでいる形態がどこも多いです。実際には店舗は商売やって閉めています、後ろに住んでいるスタイルは土沢、石鳥谷、大迫がそうです。空き店舗にはなっているが、そこに住んでいるので、この空き店舗を壊せないとか、リノベーションできないというような問題もあります。ですから商工会議所だけでやるのは難しい。行政も関わっていただかないと難しいし、商店街を活性化させるという意味でリノベーションして店舗を活用することは非常に良いことですし、若い人は起業したいといっても恐ろしい借金をして起業するわけで、チャレンジショップのように非常に安い費用でチャレンジできるという仕組みをつくってあげると、若い人たちも起業してみようかなと思うのです。土沢の場合はアートクラフトがあって、あれはチャレンジショップではないですけども、極端な話をするとあれが派生していったちょっとやりたいなという人は居なくもない。住むとなると店舗を兼ねていたら後ろに人が住んでいるので、なかなか全部リノベーションしてやることはできない。そこに一緒に住むことが難しいという実態もあるので、資料に書いてある方向性は大いに賛成ですので、空き店舗を利用するには非常に大変であるということ、リノベーションするにも若い人たちが本当にチャレンジして商売をやっていかなければ、今の事業所数だけで言ったら人口減少と一緒に、やっぱり減っていくわけです。そうすると新しい事業所を作っていくとなったときには、若い人でもさほど経験がなくても、チャレンジショップのように、大きな投資をせずともチャレンジができるという仕組みを進めていかないといけないと思います。花巻市の住民でない若者であっても、花巻にショップを出すのにハードルが低いと思ったら、北上や盛岡からも花巻のチャレンジショップで商売してみようかと移住する方が増えてくれば事業者が増えるわけです。そういった観点から言うと、移住定住の形でそれを実際にできてハードル下げるとは商工会議所だけでは難しくて、それは行政も関わっていただいて、財政面とかいろんな仕組みを法律の面とかでやっていただければ、方向性は実現すると思いますし、実現させないとさっき浅沼さんが言っていた人口減少の赤いグラフに近づかないと思います。単に住む人だけじゃなく商売もありますし、それによってお客様が来るので、実際はトータルでいろんな要素全部絡んでの人口問題かなというふうに思いますので、ご検討をよろしくお願ひしたいと思います。

(岩間部長)

ご意見ありがとうございます。

リノベーションにつきましては、現在支援として補助金等を交付するという形で若い方々の取り組みに対するアプローチはさせていただいている状況です。それをさらに拡充していくかということにつきましては今後アクションプランを作ってまいりますので、そこで検討させていただくということになるかと思えます。また、顔づくり事業等を使いまして地域によってはチャレンジショップ的なものを既に実施しているところもありますし、委託販売的な形で自分の作品ですとか加工品ですとか、そういうものを販売されている事例もあると把握しております。今後そのような取組がもっと簡単にできるとことも必要だと思えますし、移住定住を推進されている団体とも意見交換させていただいている中で、市としてある程度施設整備についての支援も必要かと感じておりますので、今後アクションプランで検討させていただきたいと思えます。

議長（松葉会長）

他にございませんか。

(小原節子委員)

花巻市は新幹線の東側に東和町、大迫町それから石鳥谷町の半分以上が位置しておりますが、新花巻駅あたりが花巻の中心になったらいいのではないかと私はずっと思っておりますが、あそこは駐車場がすごく広くて、とてもよく整備されていますけれども、あの辺に大きな商業都市みたいな考えはないのでしょうか。

また、宮沢賢治記念館に行きますと、本当に平日でも車が停まっております。県外の車も多いです。館長さんにお聞きしましたら、日本全国で単独での記念館がある中では日本一の入館者だそうです。そして周辺には童話村があり花巻空港があつて、なぜ新花巻駅近くの東側を開発しようとならないのか。

それから図書館ですが、JRの近くに移転するとの話がありますが、私としては新花巻駅の辺りに整備していただければ、花巻の中心でもありますし、商業都市か何かを開発していただけたら人口も増えていくのではないかなと思っておりますけれども、提案としてお話をさせていただきました。

(岩間部長)

ご意見ありがとうございます。

市として商業施設等を建設するという事は想定はされないところでございまして、例えば今ある小さめのショッピングモールですとかそういうものでも、あくまでも民間の方がここにこういう集客が見込まれるからこういう施設を整備するという事で、土地を購入して進めるのが通常でございます。市として例えばその土地を整備してそこに企業を誘致してくるということは工業団地等であればありえますけれども、商業施設につきましては、やはりそこにどれぐらいのお客様が来て利益が上がるかということを冷静に民間企業が計算をしてやるということでございますので、市としてそういう施設を整備するという考えは今のところございません。

(小原節子委員)

そうしますと、例えば花巻市の上町の辺りですが、昔は花巻デパートがあつたところが今は公園になって、それから公園の上の旧まん福とかは市が買い取ったと聞いていますし、買い取った土地をどう活用するかとか、市としての考えはあつたと思えますが、すごく無駄なところ

を買い取っていると感じております。市として商業都市は目指さないとおっしゃいましたけれども、人口が減っている現状、仕事がないとないところには人口が増えないわけですから、やっぱり行政としてどうやってお金を生む土地としていくかという事は非常に大事なことだと思っておりますので、お返事はすぐにいただくなくてもいいですけど、行政の人たちは大変努力して、この資料を見ると立派ですし、本当に大変一生懸命なさっているのはわかりますけれども、実際現実として花巻市に住みたい、子どもを産みたいという実態にはなっていないのではないかと、先ほどの浅沼さんや菊池さんのお話と同じように机上論理や理想論であって、そのとおりに進めていただいたら本当に花巻市はすごい市になるのではないかと思います。人口減少にしても花巻だけじゃなくて日本全体の問題でしょうし、いずれ真剣に10年後、30年後に花巻はどうなっているかを考えていただいて、これからも永遠に栄えて幸せなまちになってもらいたいと思います。

(岩間部長)

ありがとうございます。

商業都市を目指さないとということではなく、商業施設を市として誘致をするということが現状ではなかなか難しいだろうという認識でいるということなのです。

(小原節子委員)

イトーヨーカ堂は市で誘致したのではなかったですか。

(岩間部長)

そのイトーヨーカ堂につきましても、今全国的になかなか難しいような状況にありまして、花巻市にありますイトーヨーカ堂は全国の中でも黒字を維持している優良施設だと言われておりますけれども、それでありましても他県の関連店舗がどんどん閉鎖していくと、流通という面で花巻市のイトーヨーカ堂だけが残るとということが本当にできるかということも大きな課題となっていると認識しております。よって現在花巻市としてはイトーヨーカ堂さんのような既存の大型の施設、これについてはきちんと維持していくことを方策として考えていきたいと思っておりますが、そういう大型のショッピングモールですとか、デパートとかも県内でも次々に閉店している状況にありまして、なかなか通販ですとかそういうものが便利になってくることによって、店舗を構えての商業施設としての維持が全国的に難しくなっているだろうと思っております。そういう中で新しい施設を誘致してきて、本当にこの花巻市の中で、そこが業としてずっと成り立っているのかということも考えなければならぬと思います。まずは働く場所を市としてきちんと提供して、その上で人口が増えるという事、人口が維持できるということがあれば、そこが魅力となって民間の方からそういう店舗を開きたいというお話が来ると期待される場所もありますので、その際には市として店舗を整備する場合に例えばその土地についてどういう支援ができるだろうか、そういうことを考えていく事が重要かと思っております。

議長（松葉会長）

よろしいですか。あと1つか2つくらいあればお願いします。

(日下委員)

私は東和町婦人消防協力隊の隊長として参加していますが、防災のことをちょっとお伺いしたいと思います。

現在、消防団の成り手がいないというか、頑張っているけどなかなか増やせないっていう状

況になっていると思いますが、資料の中で防災について書いているところを見つけることができずでしたので、その防災と担い手の問題で消防団や婦人消防協力隊もそうですけど、将来的にどういうふうにしていくつもりなのかを伺いたいと思います。

(富澤室長)

防災に関し消防についてということでございました。

資料No.2の50ページに地域防災力の向上という政策の中に、防災体制や消防団の組織活動について触れております。具体的な方策や取組となりますと、この長期ビジョンを策定した上で、具体的なその取組を定める前期アクションプランの方で実際にやっていく事業とかが書かれてくると思います。消防団員が少なくなっているということに対しては、その消防団全体として見直すとかそういったところが地域で考えられてきて、現にそれが実行されている地域もあるということでございます。市としてどうあるべきかということもございますが、まずは消防団の方々の活動ですとか、そういったところを踏まえながら、こういった方向性でその組織が成り立っていくのだろうかという議論が先かと思っております。

議長(松葉会長)

他にございませんか。

(平野委員)

この計画に関係があるかどうかかわからないですけれども、農業は今年すごく暑くて、いろんな作目の品質があまり良くないとニュースで聞いたりして、例えばお米とかリンゴですけど、生育があまり良くないという状況もありまして、農林業の振興の中でそういった援助についても、ご検討いただけるのであればお願いしたいということと、あとシカとかクマとかの獣害が大変で山の方はよくないという事を聞きまして、また今年はリンゴ畑でタヌキがリンゴを食べているところもいつもよりも多いと思いますし、鳥の被害も例年よりも多くて、そういったところも日常生活の安全確保であるとか、農林業の振興だけではなくて、住環境にも影響してくると思っております、長期ビジョンで考えることなのかどうかかわからないですけれども、もしよければご検討いただきたいと思っております。

(岩間部長)

ありがとうございます。

まず農作物の被害に関してですが、米も一等米の比率がよくなかったとか、リンゴにつきましては、石鳥谷で霜の被害が大きかったということと、また、この暑さによって石鳥谷以外でもリンゴの被害があるというお話は聞いておまして、農林部でそちらへの補助ということについては現在検討中ということをお聞いております。それらにつきましては、あくまでも個別の事業という形になりますので、長期ビジョンではなく、アクションプランの方で様々記載させていただくことになろうかと思っております。

それからクマ等の鳥獣被害につきましては、農林業の振興で施策の展開のところにあります農業生産の支援の部分で、これもアクションプランの方で詳細が記載されていくという状況になります。それから今年度、岩手大学の専門家の先生のご意見もお伺いしまして、特に河川敷の刈り払いですとか、里山との区分がきちんとできるようにとかも含めて、今県の協力を得ながら対策を打っているところでございます。それでもなかなか被害は減らないのかなと思っておりますが、これもその専門家の先生の話によりますと、奥羽山脈は非常にどんぐりとかが北上山地に比べて豊富だということで、それでクマの生息数もすごく増えている状況にあるということをお伺いしました。今年度は昨年度の豊作によって、子供がいっぱい生まれているという

ことですけれども、その子供たちが来年度に越冬しまして成獣になりますので、なかなか被害が減るような様子はないのかなと思っております。それを防止するために専門家の方々の意見を聞きながら打てる手については打っていきたいと思っておりますし、電気柵につきましても様々な要件を緩和しまして、より多くの方に使っていただけるように制度についても見直しを行っているところでございますので、ご利用いただければと思っております。

議長（松葉会長）

他にございませんか。

（委員から「なし」の声あり）

その他ですが事務局で何かございますか。

（及川補佐）

事務局では、特に準備しておりません。

議長（松葉会長）

それでは、長時間たいへんありがとうございました。また、委員の皆さまありがとうございました。

（及川補佐）

以上をもちまして、花巻市東和地域協議会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。